

エンディングノート講座

鈴木 直樹

1、ありがちなお話

お父さんが亡くなりました。

① 葬儀関係

誰を呼べばいいのか？ 連絡先は？

互助会やお寺に事前に何か支払っているはずだったよね？

祭壇の写真はどうしよう？

② 遺産関係

遺言はあるの？

預金通帳はどれだけある？

保険金は？ 有価証券は？ 借金は？ これらの書類はどこにある？

③ 生活関係

クレジット、各種会員の契約はどうなる？

契約（解約）に必要な印鑑はどこにある？

家族に内緒のアレは？

遺族はバタバタと家探しをすることが多いです。

2、エンディングノートとは

自分が死んだとき、残された家族に有益と思われる情報をまとめて残しておくノートです。自分だけしか知らないけれど、家族にもかかわりがある大切なこと、自分の死後の家族に対するメッセージや気持ちを伝えることもできます。

3、遺言書との違い

遺言書

- ・ 方式が決まっており、それに従わないと無効
- ・ 一定の法律的効力があり、拘束力がある

エンディングノート

- ・ 法律行為ではないので、形式等は自由
- ・ あくまでも「伝言」「メッセージ」であり、強制力はない

つまり、

- ・ 形式、手続きを気にすることなく、自由に、気軽に作れる
- ・ 遺言では触れられないような細々したことも伝えられる

4、どんなことを書くのか

① 前提条件

- ・ 市販のエンディングノートを購入するのが楽
- ・ 全てを網羅しようとしなくていい
- ・ 書き直すことを予定しよう
- ・ 書き直した際の最新日付を（頁ごとに）記入しておこう

② 自分のこと

住所・氏名（本名・通称）・生年月日など

携帯電話・パスポート・運転免許証・住民票コードなどの番号

転居履歴

年金・保険証などの番号と保管場所

携帯電話やPCWEBサイトのID等

親族表（家系図）、連絡先

病名の告知・延命措置・臓器提供などの意思表示

③ 財産

預金口座、保険契約、有価証券、貸金庫などの通帳、証書、鍵の保管場所
ネットバンキングなどのID
水道光熱費などの引落口座
不動産など
貸付金、借入金、保証債務などの内容
保有しているクレジットカード、電子マネーなど

④ 交友関係

氏名・関係・連絡先
その他所属団体などの名前、代表者、連絡先
入院時の連絡要不要・葬儀の連絡要不要

⑤ 葬儀・墓

希望
生前に準備してあるものの一覧と保管場所
遺言書の作成の有無と保管場所

⑥ その他

家族・その他の人へのメッセージ

5、作成したら

① 作成したことを誰かに伝える

いざというときにこれがあることを誰も知らないのでは役に立たない

② 保管場所に注意

いざというときまで勝手に人に見られないように
例えば空き巣に見られたらとんでもないことになる
都度、書きたしたり書き直したりするので、あまり厳重に隠すのもどうか？